

## 第29回福岡地域審議会会議録

と き：平成27年6月26日(金)午前10時00分

ところ：福岡庁舎4階 401会議室

### 出席者

#### ○高岡市

高橋市長、林副市長、金谷総務部次長、草壁経営企画部長、廣瀬総務課長、柴田財政課長、二塚都市経営課長、中条花と緑の課長、山田子ども・子育て課長、森田秘書課長、水上福岡総合行政センター所長、高畑福岡総合行政センター次長、川尻地域振興課長、堀経済振興課長、岩崎市民生活課長、佐伯福岡まちづくり推進室長、梨木福岡まちづくり推進室総括専門員、谷内福岡教育行政センター所長

#### ○委員（50音順）

朝静子委員、大道悦子委員、参納幸雄委員、島倉憲治委員、島次武雄委員、高田憲弘委員、田畑公生委員、中山里美委員、濱木慶子委員、平野栄一委員、藤田繁委員、村上委千子委員、吉田重成委員、割田貞夫委員

#### ○欠席者

大道哲郎委員

### 1 開 会

午前10時

#### 【事務局】

本日は、お忙しいところご出席賜りまして、誠にありがとうございます。  
ただいまから、第29回福岡地域審議会を開催いたします。

### 2 会長挨拶

#### 【事務局】

開催にあたり割田会長からごあいさつをお願いします。

#### 【割田会長】

本日はお忙しい中、委員の皆様にはご出席いただきありがとうございます。また公務ご多忙の中、高橋市長、林副市長、関係部局の方にご出席いただきありがとうございます。後程、事案の説明、各委員の質問にご回答いただけるようお願い申し上げます。

高岡市では3月に新幹線が開通し、4月には前田家の町民文化が日本遺産に認定されました。新幹線のほかに環状線の整備も整ってきております。新聞では、観光客が大幅に増えたということも目にするようになりまして、いよいよこれから高岡の魅力発信ということになっていくのかなと思います。市の方や観光協会の方だけではなく、私たち自身も高岡をアピールしていくということが大事だと思っております。歴史ある都市でございますので、市民が一体となってアピールをしていかなければならないと思います。

今年の11月1日で福岡町と高岡市が合併して10年となります。10年ひと昔という言葉もございますけれども、かなり合併が熟成されてきたという時期に入ってきたのではないかなと思います。新市建設計画の事業も審議していただいておりますが、概ね完成いたしております。一部継続となっている駅前再開発などは、時間と物理的な問題でありますので、時間と年数で完成していくものです。市の関係の方々、議員の方々、関係各位の方々の努力は大変なものがあったと思います。改めて感謝申し上げたいと思います。

本日の第29回の地域審議会は報告案件が3件、その他2件となっております。その他の案件で合併10周年でございますが、委員の方々は大変だいたい福岡町で育って福岡町で生活しておられます。合併して10年経ったということで、振り返ってどうだったのかという意見も出していただき、今後の魅力ある高岡市づくりを目指した意見も頂きながら今日の審議会を進めていきたいと思っております。委員の皆様には忌憚のないご意見を積極的に提言いただきますようお願い申し上げます。開会の挨拶とさせていただきます。

本日はよろしく願いいたします。

### 3 市長あいさつ

#### 【事務局】

ありがとうございました。続きまして高橋市長からごあいさつを申し上げます。

#### 【高橋市長】

本日は第29回の地域審議会となります。委員の皆様方にはお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

今ほど割田会長さんからもお話がありましたように、新高岡市発足 10 周年でございます。11 月には記念式典等いろいろなイベントも含めまして、一つのピークをもっていくように 10 周年のお祝いを進めてまいりたいと思います。この間地域審議会では、新市建設計画の事業の進捗状況の目配りを頂きありがとうございます。歴代の会長さんはじめ委員の方々、現在審議を進めて頂いている皆さんにも改めて感謝申し上げます。3 月に新幹線開業を迎えました。苦節 50 年とっておきまして、多くの先人たちの様々なご努力、ご尽力、熱意によりまして今日を迎えることができましたことを大変うれしく思っております。おかげさまで、市内各地昨年を大きく上回る人出でございます。福岡地域にもたくさんの方が訪れたと思います。これから福岡町ならではの祭りもございまして、ぜひとも新幹線の開業の実感というものを皆さんに味わっていただきたいと思っております。地方創生ということが言われております。人口減少という全国的な課題の中で人の交流あるいは定着、定住、そして若い世代が住みやすいまちづくりが求められております。富山県はもともと住みよい地域といわれておきまして、高岡市も全国の住みやすさランキングといったもので、かなり上位に入っているところでございますが、人口減少が続いております。今年は地方創生元年ということで、国の方でも、日本全体が世界の中で地位を占めていくためには地方が元気になって活性化し、新しく生まれ変わっていくことが重要であるという認識のもとに様々な施策を打ち出そうとしているところでございます。私どもも、これに合わせて「未来高岡総合戦略」を策定していくこととなります。市民の皆様と共に新しい高岡の未来を開いていくということをお願いしたいと思います。合併 10 周年の中で新しい高岡市というのが大変厚みを増したと思っております。産業面でも地域の自然環境という意味でも、そして文化の面でも人材の面でも福岡町と高岡市が一緒になって新しい高岡市として大いに厚みを増してきたと思っております。地方創生に挑む地域資源という意味でも大きな力を得ているものと思っております。合併した 11 月 1 日記念式典やフォーラムを用意しておりますので、皆様と共に祝いしたいと思います。

本日は、平成 27 年度に進行している事業を中心にご説明申し上げることにしておりますが、おかげさまで駅周辺の交流センターの工事も始まりまして、今後どのように使っていくのかという協議会等も設けて皆さんとともに有効活用を図ってまいりたいと思っております。福岡グラウンドなどの整備ができまして近くお披露目でございます。駅前の土地区画整理事業とあわせて福岡の中心地域が大きく変貌を遂げ、実際に事業が進んでいることを大変うれしく思います。福岡の地区にも課題がたくさんございま

す。中山間地域では、人口減少に対応した取り組みや都市との交流、イノシシをはじめとする鳥獣対策、そこで営まれている農林業をこれからどうしていくのかということが大きな課題となっております。それぞれの地区の実情に応じた施策を展開してきたところでございます。そういったことも含めてご報告もさせていただきながら、忌憚のないご意見を賜れば幸いです。本日の審議会が皆様方と共に有意義な時間となりますようお願い申し上げ冒頭のご挨拶とさせていただきます。

#### 4 議 事

##### 【事務局】

ありがとうございました。

それでは、ここで市からの出席者を紹介させていただきます。

##### (市出席者紹介)

本日の会議は委員定数 15 名の内、大道委員から欠席の報告を受けております。地域審議会設置規定の第 8 条第 4 項に規定する過半数を超えていますので、本日の会議は成立しているということを報告させていただきます。

それでは地域審議会設置規定第 8 条第 3 項の規定によりまして、議長は会長が務めることとなっておりますので割田会長よろしく申し上げます。

##### (1) 報告事項

それでは、規定によりまして議長を務めさせていただきます。審議が円滑に進みますよう委員の皆様のご協力をお願いします。今回の会議は、①報告事項 3 件、②その他の案件 2 件となっております。

##### 【割田議長】

まず、「報告第 85 号 平成 27 年度福岡地域主要事業（新市建設計画）について」報告をお願いします。

##### 【川尻地域振興課長】

それでは、お手元の資料 No. 1 に従いまして説明をいたします。

(地域振興課長より資料 No. 1 で説明)

##### 【割田議長】

ありがとうございました。ただいま報告のありました「報告第 85 号 平成 27 年度福岡地域主要事業（新市建設計画）について」何かご意見、ご質問はございますか。

【村上委員】

大滝工業団地造成事業についてお聞きします。2区画分譲し残り1区画ということでおかげさまで、雇用にもつながりましたシインフラも整備されました。ありがとうございました。残りの1区画についても企業誘致をお願いします。第2期工事もあったように聞いているのですがどうなっているのでしょうか。

【川尻地域振興課長】

市では大滝工業団地以外に四日市工業団地、オフィスパーク等3か所の企業誘致施設がございます。昨年は新幹線開業を狙って首都圏を中心にPRしてまいりました。東京駅や新橋駅などにポスターを掲示したり、サンダーボードやしらすぎに広告を出したり、丸の内の地下でデジタルサイネージを実施したりしております。小矢部市や氷見市と合同で首都圏の企業にPRをしております。市長自らパワーポイントでPRするなど首都圏の企業を誘致するため実施してまいりました。市長、副市長、産業振興部の職員が出張の際に時間を見つけて関係機関等に企業誘致を働きかけております。今後の予定としましては、大滝のほかの施設も含めて残っている区画を埋めることに全力を尽くしてまいりますので、今後の造成につきましてはそこも見据えて考えていきたいと思っております。

【村上委員】

よろしくをお願いします。

【割田議長】

他に何かご意見はありますか。

【朝委員】

高岡西部総合運動公園ボールパークについてお聞きします。球場のファールボールがあいの風鉄道の線路に入ってしまうことについての安全対策はどうなっているのでしょうか。

【川尻地域振興課長】

先日、ボールパークの防球ネットの上をファールボールが超えるという事象が発生しました。その対策として防球ネットをかさ上げします。現在、高さ15mのところを延

長で107mあります。高さ10mのところは延長40mあります。あわせて150mほど防球ネットが掛かっております。延長127mまでの区間を高さ25mまで伸ばして、残りの部分を高さ20mで整備する予定としております。ネットは試合のある時だけかさ上げをして、試合のない時はネットを下げ支柱に負荷がかからないようにする予定です。防球ネットの耐力については、風速30m/秒に耐えられる設計となっております。

【朝委員】

安全に気を付けてよろしくお願いします。

【割田議長】

他に何かありますか。

【島次委員】

今回の報告内容のものではないのですが、私の住んでいる木舟地区にとっては大切な内容となりますので、あえてこの場で質問させていただきます。

7月16日に開業する三井アウトレットパーク北陸小矢部のことについてです。三井不動産の試算によると、能越自動車道の1日あたりの利用台数は休日4,000台、平日2,000台増える見込みだそうです。増加する台数の多くが福岡インターチェンジを利用することが予想され、交通渋滞、交通事故、騒音等の公害、二酸化炭素の排出による地域環境の悪化など地域住民に大きな影響を与えることが予想されます。川島県議が三井不動産に確認したところ、三井不動産は対応する予定はなく、地元行政機関が対応される認識であるという回答を得たとのことでした。アウトレットパーク開業に伴う諸問題の相談窓口として高岡市に期待しております。高岡市のご意見をお聞かせください。

【水上福岡総合行政センター所長】

交通量の増大に伴う支障が起れば、福岡総合行政センターが窓口となり各部局と連携しながら適切な対応に心掛けてまいりたいと思います。

【割田議長】

アウトレットパークについては、大滝以外にも伏木港線もありますので対応よろしく  
お願いします。

他に何か質問はありますか。

【島倉委員】

駅前土地区画整理事業についてお尋ねします。知り合いが区画整理の対象区域内に住  
んでいるのですが、まだコンタクトがないということでした。予定は平成30年までと  
のことですが、このまま順調に進むのか工期が延びるとコストアップにつながる等工期  
が延びることによる問題点はあるのでしょうか。

財源は合併特例債だと思うのですが、金銭的な問題はないのでしょうか。

【佐伯まちづくり推進室長】

区画整理事業に関しては、平成19年度に認可を受け平成30年度までということに  
事業計画上はなっております。認可を受けた際には、平成21年度に仮換地指定をして  
その後工事や補償契約をする予定でしたが、地権者の同意が得られず、平成23年の7  
月ようやく地権者の同意が得られた状況で、当初の計画から2年ほど伸びている状態  
です。進捗状況ですが、事業費ベースで平成26年度までで約33%となっております。  
事業区域内には約150件の支障物件があり、平成26年度時点で約50%が移転契約  
をしております。今後はなるべく経費が掛からないようできるだけ早く事業を進めてま  
いりたいと思います。

【水上福岡総合行政センター所長】

合併特例債については、相当額の当初予算を組んでおりますので70%近く、支障物  
件については80%近くまで動くと思っております。合併特例債については、今年度中  
に最大限活用していきたいと思っております。それ以降につきましても、国や県のカも借りな  
がらしっかりと進めてまいりたいと思っております。

【島倉委員】

合併特例債の限度額を超えることはないのでしょうか。

【水上福岡総合行政センター所長】

合併特例債は今年度までの発行になっております。来年度以降は国の補助金や市の別の財源を活用してまいりたいと思います。

【割田議長】

他に何かありますか。特にならなければ次に進めたいと思います。続いて、「報告第86号 平成27年度予算における福岡地域の主な事業（新市建設計画以外）について」報告をお願いします。

【川尻地域振興課長】

資料No.2をご覧ください。

（地域振興課長より資料No.2で説明）

【割田議長】

ただいま報告のありました「報告第86号 平成27年度予算における福岡地域の主な事業（新市建設計画以外）について」ご意見ご質問はありますか。

【村上委員】

地域子育て広場事業についてお尋ねします。児童保育の対象者が広がったことで学童保育があふれて、第2学童を作ろうという話があったと思いますが、現状と対応策をお聞かせください。福岡地域では子育て広場事業は寺子屋サロンがあると思いますが、放課後児童育成クラブとは別物なのでしょうか。

【山田子ども・子育て課長】

放課後児童育成クラブの対象が小学校6年生まで引き上げられたとのことです。福岡地区の児童育成クラブについては、平成26年の4月からさくら会館で活動しております。現在福岡校下の児童育成クラブに在籍している児童は1年生が22名、2年生が21名、3年生が12名、計55名です。場所や指導員の問題ですぐに対応できないクラブもあります。福岡の場合は児童育成クラブと児童館が同じ場所で活動していることから、児童育成クラブは3年生まで、児童館は6年生まで受け入れる体制ができています。バス待ちの子どもたちを含めて児童館が利用されています。児童館の1日当たりの利用者数は40名ほどの利用があります。子育て広場事業については、寺子屋サロンが該当します。児童育成クラブについては規制の関係で寺子屋サロンが該当しないため別の補助メニューになります。



【割田議長】

他に何かありますか。

【藤田委員】

水と緑の森づくり事業というのは各地で行われている里山事業のことなのでしょうか。

【川尻地域振興課長】

里山再整備事業です。市役所で投資的経費を計上してから地域に次年度から補助金を支出して地域で里山を守ってもらう事業です。

【割田議長】

他にありませんか。ないようでしたら次へ進めさせていただきます。

つづいて「報告第87号 高岡市福岡庁舎の利活用の検討状況について（中間報告）」説明をお願いします。

【川尻地域振興課長】

資料No.3をご覧ください。

（地域振興課長より資料No.3で説明）

【割田議長】

ただいま報告のありました「報告第87号 高岡市福岡庁舎の利活用の検討状況について（中間報告）」ご意見、ご質問はありますか。

【田畑委員】

庁舎が合併に伴う合理化で空いたスペースはなるべく収入源になる方法を考えるべきだと思います。最終的には、維持費等の経費が市民の税負担となるので、活性化の意味も含めて事業をされている方に貸すというのがいいのではないのでしょうか。

【水上福岡総合行政センター所長】

庁舎の利活用については住民の皆さんからご要望を踏まえた形で改修を考えております。

【草壁経営企画部長】

公共施設の有り方については、今年度大きな方針を考えていきたいと思います。福岡地域に限らず、たくさんの施設を保有しております。今後人口が減っていくことが避けられない状況の中、今ある施設をどういう風に有効に活用していくのか、どういう風にすれば少しでも長く使っていけるのか、どういう風に更新をしていくのかを公共施設総合管理計画のという形で今年度考えていきたいと思います。

【割田議長】

他にご質問はありますか。

【濱木委員】

公共施設を借りる場合、有料の施設と無料の施設がありますが、建設中の駅前の交流センターについては、フリースペースは無料で利用できると思うのですが、部屋を借りる場合はどのようになるのでしょうか。ボランティアで利用する場合も利用料を支払うことに少し抵抗があるので、登録ボランティア団体は無料になるようなシステムがあればいいと思います。

【水上福岡総合行政センター所長】

庁舎内に関してはどこかにフリースペースを設けたいと考えております。日中、夜間、休日の使用などいろいろな利用形態があることから、どこまでお応えできるかは今後検討していきたいと思います。駅前の交流センターについては、類似施設としてウイングウイング高岡に男女交流センターの会議室があり、基本有料ですが登録団体が使用する際には無料となっていると理解しております。基本的には有料にしたいと思っておりますが、運用について減免の考え方についても工夫していきたいと思っております。

【割田議長】

他に何かありますか。

【島次委員】

これから高齢化社会を迎えるにあたって、ボランティア活動を活性化していかなければ厳しい社会になっていくと思います。ボランティア活動の効果や成果を周知する機

会が乏しいと感じます。ボランティア活動の成果を皆さんで共有できるような仕組みづくりに支援をお願いします。

【割田議長】

インターネットで公表している部分もあるかとは思いますが、これについて説明をお願いします。

【草壁経営企画部長】

一緒に活動させていただく中で、市としてもホームページや市民と市政などのツールやメディアの方に上げていただく等いろいろな方法があると思いますが、少しでも皆さんに活動が伝わっていけばいいと思います。

【濱木委員】

社会福祉協議会やボランティア協議会から年に何度か出ている広報誌にも記載されており、目につくような広報活動をやっておられると思います。それは一部の団体だけなので、もっと多くの団体が目につくようになればいいと思います。

【割田議長】

他に意見はありますか。

特にないようですので、これで報告事項を終了し、次のその他の案件に入りたいと思います。それでは「(仮称)福岡駅前交流センターについて」説明をお願いします。

【佐伯まちづくり推進室長】

資料No.4をご覧ください。

(まちづくり推進室長より資料No.4で説明)

【割田議長】

ありがとうございました。今ほど説明のありました「(仮称)福岡駅前交流センターについて」ご意見ご質問はありませんか。

【田畑委員】

京都へ行く際に福岡駅で切符を買おうとしたところ、福岡駅では取り扱っていないため、高岡駅もしくは石動駅まで行って欲しいとのことでした。高岡駅で買おうとしたと

ころ福岡駅から切符はなく、高岡発もしくは金沢発の切符しかないということでした。また、県外の方が切符を購入する際にクレジットカードを提示したところ、新高岡駅に行かないと使えないということで驚いておられました。駅前を中心に周辺地区の活性化を図るということですが、駅がこのような状態では次の世代から何をしていたのかと思われるのではないのでしょうか。東京や京都の方が福岡につくりもんを見にきたいといった場合切符が買えないのではないのでしょうか。将来的な方針があるのかお聞かせください。

【割田議長】

あいの風鉄道とJRの繋ぎについて、駅前整備の費用対効果についてのご質問だと思います。高岡市だけでは難しい部分もあるかとは思いますが、ご回答をお願いします。

【林副市長】

ご指摘のとおり、あいの風富山鉄道とJR、さらにIRいしかわ鉄道、新幹線の繋がりがよくないという指摘は、福岡駅の利用者以外にもあいの風富山鉄道の各駅の利用者から相当数言われており、各沿線の自治体からあいの風富山鉄道に強く指摘されているところです。高岡市は新幹線駅と従来の駅が分離しているというほかの自治体にはない課題がある中で、住民の皆さんの便益は通勤通学以外にも遠方へお出かけになる、遠方からお越しいただくという2つの点に対応が必要になると思います。高岡市ではこの両面からあいの風富山鉄道並びにJRに対して要請を行っているところです。今のような問題がこのまま推移していきますと、鉄道離れ、来訪者の不便間の増大が新幹線の効果をマイナスに作用する恐れがあり、まちづくり、地域づくりにも影響してくると認識しております。まずはソフト面のつながりが便利になるように新幹線、在来線、それにかかわるバスなど総合的なことを県西部全体で取り組んでいこうという方向性を打ち出しているところです。それぞれの駅の利用促進につきましては高岡には、城端線、氷見線、あいの風富山鉄道それぞれの駅があります。それぞれの駅は、置かれている地理的状况が違いますので、利用しやすい駅にすると同時に駅を使って周辺の施設を利用する、周辺の施設を有効利用することが駅の利用促進にもつながるということを高岡市でも考えておりますが、県西部全体で考えようという方針で多極型ネットワークの連携方策を進めているところです。問題が多方面にわたっており、時間がかかりますが高岡市としてはしっかりと取り組んでいきたいと思っております。

【割田議長】

利便性が損なわれますと、駅離れにもつながりますのでよろしくお願いします。  
他にご質問はありますか。

【濱木委員】

高齢社会になり、車での移動が難しくなり、公共交通機関での移動を考えると福岡駅にエレベーターがないというのは不便だと思います。どの駅にもエレベーターやエスカレーターがある中で、エレベーターがないというのは非常に残念です。県議会の傍聴に行ったところ、1日の利用者数が3,000人以上必要ですが、現在の利用者数は2,300~2,400人だそうです。どうればいいのかと考えております。

【林副市長】

福岡駅のバリアフリー化については、住民の皆さんから要望が寄せられているということは十分承知しております。文書での要請は何度か行ってまいりました。その中で出てきているのが一定の乗降者数が必要であるということです。従来は5,000人でありまして、いろいろな運動、要望、実態から要件が引き下げられてきたという経過がございます。そういった点からいきますと、今後もしっかりと要望していくということで、全国的に高齢化が進む中、国でも政策を考えてもらうという段階を作っていきたいと思っております。駅の利用実態を基に要望していく必要があると思っております。みんなで駅を使って動くということも必要になってくると思っております。

【割田議長】

他に何かありますか。

【平野委員】

福岡駅から外へ出ると、JAの福岡支店が見えますが、来年には移転すると聞いております。駅周辺の景観もまちづくりの重要なポイントになってくると思っております。空きスペースの利用についても検討されているとは思いますが、まちの景観を第一に考えた企画をお願いします。

【水上福岡総合行政センター所長】

3つの施設が並びますので施設の色の調和も景観には必要になってくると思います。これに関しては、JAさんのご協力も得られると伺っております。広場等のスペースについても整備する際には、今頂いた意見も踏まえて検討していきたいと思っております。

【割田議長】

他にありますか。

【村上委員】

先ほどの副市長様のお答えについて、私なりの意見を述べさせていただきます。新幹線と在来線、長距離に使うものと生活の足となるものは離して考えた方がいいと思っています。在来線を路面電車化して簡単に乗れるように考えてもらうことは可能でしょうか。運転できない方が生活の足として利用できるようなになれば、利用が増えると思うのですが検討をお願いします。

【林副市長】

気楽に乗れるように駅の数がたくさんあるのが望ましいのですが、路面電車と異なり鉄道は駅を作るのが非常に難しいという面があります。経費、費用対効果の面を考慮せざるを得なくなります。現高岡駅と西高岡駅の間にも新駅ができるという計画がかなり具体化してきております。少しでも身近なところで利用できるということを高岡市としてもJRや国、県に働き掛けてきた結果、計画として認められたという経緯もございます。可能な範囲の物に関しては市としても一生懸命やっておりますが、構造上の問題で路面電車と同じようには出来かねるというのが実情です。将来的にまちづくりで、どういったことが可能かという点については、常に考えていく必要があると思っております。

【村上委員】

高齢者がスーパーに行くときに使えるようになるといいと思います。よろしく申し上げます。

【割田議長】

他に何かありますか

【朝委員】

駅前土地区画整理で福岡らしい民家がなくなってしまい、どこにでもあるような駅前になってしまい、魅力がなくなってしまうような気がします。

【佐伯まちづくり推進室長】

岡笹川線については景観形成重点地区に指定されているためいろいろな縛りがあるのですが、区画整理を行っている福岡駅前については、そのような縛りがないため、市役所として現状個人にお願いできないのが実情です。

【水上福岡総合行政センター所長】

福岡駅を作られる際に福岡らしさを出した駅舎になっております。現在整備している交流センターについてもデザインを壊さない工夫をしております。これからの公園づくりに関しても緑あふれる公園にしたいと思います。住民の方が移築される際にご協力いただければありがたいというのが私どもの思いです。

【割田議長】

他の意見も伺いたいのですが、時間の関係もございますので次に移らせていただきます。つづいて「新市誕生10周年記念事業について」説明をお願いします。

【川尻地域振興課長】

資料No.5をご覧ください。

(地域振興課長より資料No.5で説明)

【割田議長】

ただいま説明のあった「新市誕生10周年記念事業について」ご意見、ご質問はありますか

【島次委員】

10月11日に木舟城祭りを開催するにあたり、木舟武者を高岡市の全地域から募集しております。ぜひとも多くの方に応募していただきたいと思い、この場を借りてお願いさせていただきました。

【割田議長】

他に何かありますか。

【割田議長】

事務局からなにかありますか。

【事務局】

特にありません。

【割田議長】

事務局からの案件もないようですので、冒頭のあいさつでも申し上げたとおり、旧福岡町と旧高岡市が合併して11月1日で10周年を迎えます。10年を振り返り感じたことや、今後望むことなどを委員の皆様から一言発言をお願いしたいと思います。

【大道悦委員】

高岡市になる前は除雪作業を早くしていただいていたと思うのですが、若干遅くなったような気がするのと回数が減っている気がします。さくら祭りやつくりもんまつりなどのイベントに毎年たくさんの方に来ていただき関わっている身としてはとてもうれしく思います。高岡市になって宣伝していただいたおかげもあると思っております。

【参納委員】

10年間経ちまして、良かったのか悪かったのかよくわからないというのが実感です。福岡町時代にはできなかったような、大きな箱物ができたというのがよかった点だと感じます。

【島次委員】

高岡市・福岡町合併協議会の新市建設計画の新市まちづくりの基本方針の主要施策ごとにコメントおよび質問させていただきます。

魅力あふれるまちづくりの観光資源の発掘と保存・活用についてです。木舟城跡の観光資源活用、資源活用に今後とも期待しております。

安心して暮らせるまちづくりについてです。地区の高齢化が進むことから在宅福祉サービスの充実化に期待しております。

文化の薫り高いまちづくりについてです。木舟城跡のより一層の活用に期待しております。



安らぎのある生活環境の整備についてです。JR時代は福岡駅に快速が停まっていたが、あいの風ライナーの停車駅になっていません。あいの風ライナーの停車に向けたご助力をお願いします。

防災と雪対策についてです。志賀原発で事故があった場合、高岡市で最初に汚染される可能性があるのが福岡地域です。それに対応する計画、準備はどのように進められているのかお教えいただきたいと思います。除雪自体が福岡町時代に比べて弱くなっていると思います。小矢部市との境に住んでいますが、朝起きると小矢部市側の除雪は完了しているのに高岡市は雪が残っている状態が続いているので改善をお願いします。

ボランティア活動に対して表彰をするなどの活動の検討をお願いします。

#### 【島倉委員】

自治会に対するいろいろな補助や手当が毎年減っております。また特別作業に対する手当でも数年でなくなりました。

今後、行政には組織のスリム化、効率化を進めていただきたいと思います。ネットなどを活用した業務の簡素化やポイントを絞った行政サービスを考えていただきたいと思います。

#### 【高田委員】

自営業をしているのですが、これまでは行政センターに書類などを提出すればよかったのですが、今は水道局や高岡市役所に赴くことになり、移動時間、手続き時間、駐車場に車が停められないなど時間を費やすことが多くなりました。書類の提出については行政センターや各支所でも手続きができるようにしていただければと思います。

#### 【田畑委員】

駅のエレベーターの設置について、予算編成の変更を行うなどの柔軟性を持っていただければと思います。旧福岡町に多額の予算を使っていただきましたが、これによって市民1人当たりの借金はどうようになったのか、増えたとすれば、今後中長期的な将来の展望を残していくことが私たちの責任であると思います。

#### 【吉田委員】

良かった点は行財政が効率化された点だと思います。三役をはじめ議員の総数が減るという直接的な経費の削減、総務・企画の管理部門が効率化されることによる経費の削

減が図られるはずでしたが、10年間でどれだけの経費が削減できたのか総括を聞かせていただきたいと思います。広域的な観点に立ったまちづくりができるようになったことやより大きな市の誕生で地域の存在感の向上とイメージアップにつながるというのがいい点だと思います。

デメリットとして、住民と行政の距離が拡大し住民の声が届きにくくなり、住民の声が反映されにくくなり地域格差がますます拡大するという点だと思います。市町村の行政サービスは、住民と直結しきめ細かく行われるべきものが末端まで届きにくくなってきていることだと思います。

#### 【村上委員】

経費削減に伴って行政サービスが低下したことは致し方ないことだと思います。インフラ整備や行政サービスは、費用対効果の観点から人口の多い中心部からやっていくのが鉄則であるというのは理解はしているのですが、端の方にも心配りをお願いします。大きな目で見ると、合併によって人と出会うチャンスが増え、それによって自分のチャンスも広がったのではないかと思います。

#### 【藤田委員】

まちづくりそのものは結構だと思いますが農村部もございますので、全体的なものを見まわしながら事業を進めていただきたいと思います。

#### 【平野委員】

福岡グラウンドも完成しますが、福岡小学校運動会やつくりもんまつりなどのイベントの際に、来場者が車両を駐車できるような多目的グラウンドとしての整備を要望しておりましたが、かなわず残念に思っております。現在はPTAの役員の方がイベントごとに駐車場の確保に苦慮しておられます。窮状を察して手を差し伸べていただければと思います。

#### 【濱木委員】

合併した折にいろいろな団体が一本化し会合は高岡で行われることになりました。これまでより多くの方に出会うことができ、何かの拍子にお会いした時に声かけできる人が増えたことがよかったことだと思います。地域のパワーが少し減ったかなと感じます。

【中山委員】

合併してから、アカデミー賞受賞や菅笠の技術が無形文化財に指定されるなど福岡町地域の力が高岡のPRに繋がっていると思いうれしく思います。

また、アウトレットモールが小矢部にできますので、交通路となる赤丸、西五位にも車が多くなると思いますので、子ども達の安全にも配慮していただきたいと思います。

行政サービスが低下するのは仕方がないことなのかもしれませんが、職員の頭の切り替えを柔軟にしていれば解決できることもあると思います。高齢福祉推進員の方に高岡市から商品券を頂いているのですが、福岡町には対象となる店が限られているため、せっかくもらっても使うところがなかなかないということです。福岡の商工会の商品券であれば使えますし、高岡市商品券を使える店を増やすなど考えていただきたいと思います。

【朝委員】

福岡町の中心部に住んでいます。福岡町時代は、町の中心部に住んでいるということで、つくりもんまつりやさくらまつりには率先して参加しなければいけないという気持ちがありましたが、合併して市の端になったということに少し寂しさを感じます。合併して「西砺波郡」ではなく「高岡市」と書けるようになったことがとてもうれしかったです。

【割田議長】

どうもありがとうございました。皆さんには短い時間の中でいろいろな意見を出していただきました。私自身、農業をしております農村部でありますので、農林関係の書類の提出が多くなります。高岡市の担当課に行くのに半日作業になりますので、時間がかかると感じております。他の委員の方もおっしゃったように、いろいろな人とのつながりができることも一つあると思います。

それでは、最後に市長さんの方から一言お願いします。

【高橋市長】

総括的なご意見以外にも個別にもたくさんのご意見を頂きありがとうございました。それぞれいただきましたお話しにつきましては、何らかの形でそれぞれの方にお答えいしたいと思います。いくつかありましたので私の方からもお話ししたいと思います。

一つは合併してよかったのかという話でございますけれども、これはいろいろあろうかと思えます。私どもも一生懸命努力してきたつもりですけれども、それぞれが今まで成り立っていたものが一緒になったわけですので、それぞれが今までと違うと思うところもあったと思えますし、よくなったと思っただけのところもあったかと思えます。そういったものを将来に向けてきちんとしていくことが大事かと思えます。

いくつかありました中で、頭の切り替えが大事というお話がありました。その通りだと思えます。それぞれの職員が自分の今いるところの目線で考えがちでございます。先ほどの商品券がどこで使えるのかということなど、うっかりすることがございます。実際にお使いになる立場で考えれば、そんなにややこしいことではないのかなと思えます。そういうことが皆さんの思いの中にあるかと思えますが、改めるべきところは改めていきたいと思えます。

合併の大きな目的の一つに行政改革があったのは間違いのないと思えます。これは国全体でも当時企業経営が苦しい時期でございました。そういう中で、行政だけが安穏としていいのかという話も背景にあり、一つの自治体では財政面、人材面でも立ち行かないところがあることから、合併というものが全国的に展開しました。高岡でも両団体が一緒になることで行財政改革に努めてまいりました。団体の統合やサービス水準の統一化、端的に職員数でいえば1割以上減っております。当時の福岡町の職員数ぐらいの減になるかと思えます。大きな流れの中で市民の皆様のご理解を頂きながら、できるだけサービス低下を招かないように、効率的な行政運営に努めてきたと思っております。

10年経ちまして合併の成果ということは、行政改革のみならず冒頭に申しましたように一つの自治体の厚みが増すということが大きなポイントだったと思えます。

地方創生ということが言われておりまして、私は地方創生というものに期待をしております。今まで国から地域の活性化と標榜した施策が様々打ち出されてまいりました。今回の地方創生という言葉に込められた背景事情はずいぶん違います。地方に人が回帰し、地方でしっかりと人材を育て、仕事も育て、魅力あるまちになっていくということが日本全体の人口減少を抑え、日本全体の活力のために必要だということがようやく国政の立場として思いが至ったということでもあります。従来、エンジン役としての東京圏、大阪圏、中京圏が元気であれば、そこで稼いでその流れを地方に仕向けることで生活水準の均衡化を図るということになりがちだったのですが、そうではなく地方の水準を上げることで、日本全体がいい形になっていくということに思いが至ったのではないかと期待しているものです。その中で新高岡市は、それなりの都市機能、豊かな自然

環境、文化の幅、多様な人材の輩出という点で非常にバランスのいい地域になったと思います。

今目指している都市の有り方というのは、コンパクトネットアンドワークということです。今日出たお話の中にもこのことがたくさんありました。コンパクトと言いますと、都市機能というのはどこかに集まった魅力というものがございまして、どこかにコアを作っていくというのが非常に大事でございます。そういう意味で、高岡駅を中心にいろいろと作っていきたいと思っています。しかしコンパクトだけでは成り立たない訳です。一時期コンパクトという言葉が大変流行ったのですが、最近は国の政策でも「コンパクトアンドネットワーク」ですとか「コンパクトプラスネットワーク」ということを強調しておられます。もともとネットワーク型の社会を目指しておりまして、大きなコアや小さなコアを大事にしながら、それをネットワークで結んでいくことで全体としていい人の動きを作っていくことが大事だと思っております。例えば、今日いろいろなご意見が出ましたけれども、高岡駅と福岡駅をどうやってつないでいくかということです。高岡から県西部各地域とどういったコアを作りネットワークを作るかを今進めつつある訳です。今まで1つのJR北陸線であったものが分断され、連携が大変悪いということはおっしゃるとおりでありまして、私たちが懸念しているところです。乗り継ぎ自体はそれなりに図られております。新幹線から在来線への乗り継ぎ、あいの風から北陸線への乗り継ぎは他の駅と比べれば便利な方ではないかと思っております。物理的なものは配慮されているのですが、ネットワークの切符が買えないなど問題が現実には起こっています。簡単な問題ではないようですが、住民の方々の立場から代弁して物申していくのが我々の立場だと思っております。高齢化社会に向けて、バリアフリーということは心がけております。福岡駅についてもずっとお聞きしております。優先順位というものはあると思っております。バリアフリーの価値自体は上がっておりますので、3,000人という数値があればそこに向かってみんなで頑張っていくということも心がけながら皆様で声を出す余地もあるのかなと思っております。

これからの地域の作り方は多極ネットワーク型の連携ということをおっしゃっております。小さくは高岡市、日本全体で800ある都市のネットワークも大きな力になりつつあります。皆さんの活動のコアが連携しながら大きな力を発揮できるような仕組みを作っていくことが大事かなと心がけております。これからのいろいろな場面での福岡地域の皆様のご協力、ご支援をお願い申し上げたいと思っております。

【割田議長】

ありがとうございました。

【事務局】

個別の質問につきましての回答は次回報告したいと思います。

【割田議長】

委員の皆様には長時間にわたるご審議お疲れ様でした。

それではこれで第29回福岡地域審議会を終了します。